



# 富士山が目の前にそびえる山梨は、素直に自然っていいなと感じてもらえる♪♪♪ですよ。

「なごり雪」の大ヒットで知られる日本のフォーク界を代表するシンガー・ソングライター、イルカさん。全国ツアーなど音楽活動を展開する一方、国際自然保護連合の親善大使としても活躍されています。その活動の二つとして毎年夏に開催しているコンサートは、河口湖ステラシアターが会場。「山梨はいろんな形でご縁のあるところですよ」と言います。

## 音楽とともに、富士山麓の風景も心に刻んで

幼いころから自然や動植物が大好きで、世間でエコや環境問題が叫ばれる以前から環境保護活動に取り組んできたイルカさん。2004年には国際自然保護連合（IUCN）の初代親善大使に就任され、IUCNの活動を多くの方に知ってもらうためのPR活動や募金活動など、意欲的に行っています。

その一環として2005年からは毎年夏にコンサートを開催。その会場となっているのが、河口湖ステラシアターです。

「環境保全のメッセージを込めたコンサートなので、自然が豊かなところで行いたいと思い、イメージとして真っ



## インタビュー シンガー・ソングライター イルカさん

Iruka  
プロフィール

東京生まれ。女子美術大学に在学中からフォークグループを結成、シュリクスを経て74年 ソロデビュー。翌75年『なごり雪』が大ヒットシンガーとしての地位を確立する。78年長男“冬馬”さんを出産、2年間の休業ののち再び活動を始める。コンサート活動を中心に毎年全国ツアーを続けている。また、絵本でも『ちいさな空』（全4巻）と『真冬の天使』を出版のほか、エッセイなどもあり、母親であるイルカさんはそれら作品を通じて、「私達は、皆この地球という大きな生き物に住む、細胞同志である」というメッセージを世に伝えて、たくさんの人々に伝えている。2004年7月28日、IUCN国際自然保護連合、初代親善大使に任命された。

先に浮かんだのが富士山の麓でした。富士山が目の前に見えて、素直に自然っていいなと感じてもらえる場所ですよ。コンサートに来てくださった方には、昼から夜にかけての空の色の移り変わりや、星の輝きなど、音楽とともに、素晴らしい富士山麓の風景も心に刻んでいただけていると思います」。



イルカさんが作成したIUCNのパンフレット

## 富士山を美しい姿で残していくために、今こそ協力して取り組む時

アルピニスト野口健さんの富士山清掃活動にも参加されたことがあるそうで、富士山に対する思いも深いです。



大好きな富士山をバックに(舞鶴城公園にて)



いつも笑顔を絶やさないイルカさん。



山梨県自殺防止CM「はんぶんこ」を収録。イルカさんが「思い出して、一人じゃないってこと」と優しく語りかけます。

### 祖父の古里山梨は多くの魅力を持っている

昨年は息子さんの神部冬馬さんがヴァンフォーレ甲府の公認応援歌「君は青

「富士山は以前、世界自然遺産登録への運動が不成功に終わり、みなさん本当にショックを受けられたと思います。が、そのショックがあったからこそ清掃活動など、今に続いているのだと思います。ゴミやトイレなどの問題も多く、富士山はきつと泣いていたんだと思います。『やっとみんな気付いてくれたんだね』って。日本の象徴であり、誇りである富士山を美しい姿で残していくために、今こそみんなが協力して取り組む時だと思えます」。

い風」を歌うなど、何かと山梨と関わりがありますが、伺ってみると、さらに深い縁がありました。

「実は山梨は祖父の古里で、今も親戚がたくさんいます。『昨年、父や伯父など総勢12人ぐらいで、一緒に夏を過ごそうと山梨を訪れたんです。そこで祖父が生まれ育ったのは善光寺さんのあたりだという話になって、みんなで善光寺と武田神社にごあいさつに行きました。冬馬が甲府の応援歌を歌っているのも、きつとおじいちゃんが古里に恩返ししなさいって言ってるんだよね、おじいちゃんも喜んでるよね、なんて話したんです」。

そんな身近な山梨の魅力について、あらためて伺うと「いろいろな顔がある

ところですね。なかでも私は石がすごく好きで、これまで3回ぐらい山梨宝石博物館を訪れました。石は生き物なんです。人間の感覚では計りきれないストーンズで生きている。小さな石の中に宇宙を感じるんです。石好きにとって山梨はすごいところですよ。昔ほど天然の水晶はとれないでしょうが、ぜひ大切にしてほしいですね」とニコリ。

### つらいことは「はんぶんこ」少しでも気持ちラクに

昨年12月には、県の自殺防止を呼びかけるCMにも出演してください、そのCMで流れていた「はんぶんこ」という曲は、多くの人の共感を呼びました。「孫と話している中で生まれた歌

です。子どもの世界にもいろいろ悩みはあって、『つらいことや嫌なことも、おやつみたいにはんぶんこにしない?』って言ったんです。そうしたら『ちよつと気持ち軽くなった気がする』って。曲にするつもりはなかったんですが、コンサートでワンフレーズだけ歌ったら反響が大きく、結局4番まで作りました。この歌がみなさんの気持ちを少しでもラクに、元気にできればうれしいです」。

今年も7月25日に河口湖ステラシアターでコンサートが開催されます。イルカさんの思いがずつしりと詰まったコンサートは、たくさんの方の元気と感動、そして自然を思い、人を想う心を届けてくれるでしょう。